

就任後2年間の主な政策

「5つのまちづくりビジョン」の実現に向け、この2年間で新たに着手した主な取組。

1 夢がかなえられる街、高知市

- 子ども医療費助成の拡充
(小学6年生までを対象としていた子どもの医療助成を
中学3年生まで拡充)
- 結婚新生活支援事業の創設
- 中学進学時祝い金支給事業の創設
- 産後ケア事業の拡充
(利用上限回数の拡充、施設委託料の増額等)
- 子育て支援企業認定促進事業の創設
- 国交付金を活用した保育所等の保育料や服飾費の免除、
市立中学校の給食費の免除(複数回実施)
- 不妊治療助成の拡充
(特定不妊治療助成の全額県費化に合わせ、市独自の上
乗せや、一般不妊治療助成の新規開始)
- ファミリーサポートセンターの利用料補助
- 放課後学習室の土曜日開設モデル事業の実施
- 鏡小浜地区にこどもの広場を整備
- ラブアクト推進事業における新たな取組の開始
(民間企業のノウハウを生かし、出会い前の魅力アップセミナーや
マッチング後のフォローアップなども実施)
- プロスポーツにぎわい創出事業の創設
(若者が希望する「自然な出会い」を促進)

※ 5つのまちづくりビジョンへの分類は、それぞれの取組の内容や方向性に沿って行っており、予算編成上の分類とは必ずしも一致しません。

市長就任から2年間の取組と成果等について

2 県都にふさわしい教育都市、高知市

- 学びの多様化学校の新設（令和8年4月開設予定）
- 不登校対策として校内サポートルームを設置（令和7年度3校、令和8年度5校追加予定）
- 安全・安心な教育環境の確保のため令和7年度当初予算で市立学校の施設整備に係る予算を大幅に増額
- 高知ユナイテッドSCへの支援を実施し、選手やスタッフによるサッカー教室などを通じた地域スポーツの振興を促進
- 地域おこし協力隊としてスポーツコーディネータを配置し、情報発信を実施

3 県都の使命を果たす、高知市

- インターンシップ促進事業費の新設
- 資格取得支援事業費補助金の新設
- 奨学金返還支援制度の創設（県・事業者と連携）
- UI孫ターン支援事業費補助金の拡充（孫ターンを新設）
- お試し滞在施設の拡充（令和6年9月補正）
- 空き店舗活用支援事業の拡充（若者への補助率をアップ）
- 高知市×デカレンジャーコラボキャンペーンの実施
※クラウドファンディングで令和5年10月～12月で2,000万円を超える寄附
- シティプロモーション事業の創設（ポータルサイト「こっち!こっち!」開設）
- 地域おこし協力隊として中小企業支援コーディネーターの配置
- とさでん交通の経営安定化に向けて、県、南国市、土佐市、いの町と協調して支援を実施
- 国民宿舎桂浜荘の利活用に向けてPark-PFIによる事業者を決定（協定締結）、令和9年度からのオープンを目指す
※令和5年度リニューアルした桂浜公園との相乗効果の創出も目指す

市長就任から2年間の取組と成果等について

4 安心して暮らせる、高知市

- 住宅耐震化推進事業の拡充(助成上限額の引き上げ)、家具等手等防止対策事業の推進
- マンホールトイレ整備の推進
- 事前復興まちづくり計画策定作業の加速化
- 高知特別支援学校の体育館に空調を整備
- オーテピア西敷地の利活用策として「おまち多目的広場」を開設
 - ※カラーアスファルト舗装、パラソル・ベンチの設置、イベント開催などによる憩いと賑わいの創出
- 中心市街地に公共無線LAN環境を整備
- 電車・バス通学定期券半額応援キャンペーンの実施
- タクシーアプリ「こちタク」の導入・運用開始
- 高知市地域公共交通り・デザイン分科会で持続可能な地域公共交通の実現に向け県・沿線市町と将来の方向性を議論
- エコパーク宇賀整備事業の実施
- 朝倉地区の市営住宅2戸を子育て世帯向け住宅として整備、18歳未満の子どものいる世帯について入居要件を緩和
- 鏡今井地区市営住宅を地域活性化住宅として整備(令和8年度から供用開始予定)
- 土佐山高川地区に地域活性化住宅を新設(令和9年度から供用開始予定)
- 六泉寺市営住宅棟再編事業の推進

5 チャレンジできる街、高知市

- ネーミングライツパートナー募集開始
- ふるさと納税推進支援業務(中間委託業務)を開始
- 書かないワンストップ窓口の推進
- ホームページリニューアル事業の開始
- 市民と行政のパートナーシップ予算の創設(市税1%を活用した市民活動支援のバージョンアップ)

市長就任から2年間の取組と成果等について

市政改革の推進

市政に新しい風を吹き込みながら、組織再編や人材育成、行財政改革等を着実に進めてきました。

- 初の女性副市長として神谷副市長を登用
- 県・市の幹部級職員（副部長級）の人事交流の開始
- 男性職員の育児休業の取得促進
（男性職員向けガイドブックの作成、相談窓口設置等）
- 令和6年度機構改革
 - ・農地基盤整備課新設
 - ・こども未来部にこども政策課、こどもみらいセンターを新設
 - ・総務部にDX推進課を新設
 - ・財務部にふるさと納税推進室を新設（ふるさと納税・企業版ふるさと納税・ネーミングライツの歳入確保策を推進）
 - ・商工観光部の産業政策課の工業振興・企業立地推進室を中小企業振興支援室に再編
 - ・健康福祉部の地域保健課に予防接種・感染症対策室を新設
- 書かないワンストップ窓口の推進
- 全庁横断的な人口減少対策プロジェクトチームを創設
- 神谷副市長を中心に、若手職員による「若者が住み続けたいまちプロジェクトチーム」を創設
- 全部署にDX推進員を配置
- 教育委員会に重大事案検証室を設置
- 令和7年度機構改革
 - ・政策企画部を新設、市政全般に関する政策のより機動的な推進
 - ・文化・観光・スポーツ部を新設
 - ・商工振興部を新設、部内に外商支援課を新設し、ふるさと納税推進室を財務部から移管
 - ・農林水産部に農地基盤整備課を新設
 - ・都市建設部に法定外公共物の機能管理を集約
- 財政問題懇話会の実施
（財政健全化に向け外部有識者の意見・助言をいただく）
- 行財政構造改革に向けて事務事業の見直しを指示
（令和7年5月に全所属長向け説明会を開催）
- 業務執行体制の見直しの実施（令和7年度）
（職員定数の適正化や複数課の業務を担当する会計年度任用職員の配置を検討）
- 使用料・手数料の見直しの実施
（令和7年9月議会で条例議案上程、令和8年度から適用）
- 公共施設マネジメント基本計画の全面改定
（将来負担を過剰にしない公共施設マネジメントのアップデート）
- 新たな高知市総合計画の策定に着手
（時代に即した計画を策定し、令和9月年度からの施行を目指す）

市長就任から2年間の取組と成果等について

他都市との交流・連携

まちの魅力向上や住民の交流促進などに取り組みながら、いざという時にも助け合える関係づくりを進めています。

- 渋谷区と観光・文化協定を締結(令和6年8月23日)
 - ・原宿外苑中学校3年生が修学旅行で来高し大橋通で地元チームとよさこい演舞を通じて交流(令和7年4月)
 - ・渋谷区役所で高知PR展を開催(令和7年5月)
 - ・渋谷区富ヶ谷の富ヶ谷フェスティバルに観光ブースを出展(令和7年5月)
 - ・渋谷区図書館で高知をテーマにした企画展を開催
- 福井市との観光プロモーション・パートナーシップ協定の締結5周年記念事業の実施
- 佐世保市(YOSAKOIさせば祭りを通じて交流中)から令和7年のよさこい祭りに宮島市長が来高し、防災に関する協定を締結
- 台湾高雄市(よさこいを通じた観光PRを実施中)の漢神百貨で高知市単独での物産展を開催(令和7年度から)
- 令和6年元日の能登半島地震による被害を受けた自治体への職員派遣・支援
- 令和6年4月の豊後水道を震源とする地震で被害を受けた宿毛市へ応急給水車を派遣

民間団体との包括連携協定の締結

本市のまちづくりに共感いただいた民間団体のご協力のもと、様々な新しい取組が始まっています。

- START LANDS Inc.様(令和6年2月27日)
 - 最先端のデジタル技術を駆使し、メタバース空間に高知をイメージした仮想のまちを構築し、物販・観光・ふるさと納税等の地方創生に連携して取り組む。
- 高知ヤクルト販売株式会社様(令和6年4月5日)
 - 市民の安全・安心や、健康と福祉の増進、子どもの健全育成、市民活動の推進等に向けて、連携して取り組む。
- こうち生活協同組合様(令和6年6月3日)
 - 市政情報の発信や、高齢者支援、子どもの健全育成、市民生活の安全・安心の確保に向け、連携して取り組む。
- (一社)高知イノベーションベース様(令和7年2月21日)
 - 「アントレプレナーシップ(起業家精神)」をキーワードに、起業家・公務員・学生の交流を通じて、若者の人材育成や地域経済の活性化・ちいっ課題の解決等に連携して取り組む。
- (一社)高知市歯科医師会様、株式会社ロッテ様(R7.11.7)
 - 歯と口を通じた市民の健康の保持増進及び健康寿命の延伸を目指し、防災や災害対策の口腔ケアや、スポーツを通じた口腔健康の啓発等に連携して取り組む。